

とくしま農山漁村 [ふるさと]

応援し隊 事業

農山漁村地域 × 企業・大学等をマッチング



地域のお祭りを応援



晩茶摘みを応援



ゆずの収穫を応援



地域のイベントを応援

農山漁村はみんなの宝もの

「まち」と「むら」の協働で農山漁村を元気に

徳島県

ふるさと応援し隊 事業

農山漁村はみんなの宝物

“まちとむら”の協働で農山漁村を元気に

徳島県の面積の約8割が「中山間」と呼ばれる農山漁村地域。ここで営まれる農林水産業は、食糧生産だけではなく、きれいな水を育み洪水や土砂災害を防ぎ、地球温暖化防止にも貢献するなど重要な役割を果たしています。そして、この地域の景色こそ日本の原風景であり私たちの心を癒してくれます。

一方、多くの農山漁村が過疎化・高齢化・耕作放棄地等の増加といった深刻な問題に直面しています。

そこで徳島県では、平成22年度から社会貢献等に前向きな企業・大学・NPO法人等と応援を求める農山漁村地域を県が繋ぎ、農作業支援や地域の活性化活動等を両者の協働により実施する『とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業』として推進しています。

農山漁村地域の維持保全に役立つことはもちろん、協働活動により新たな交流が生まれ、人・物・心の活性化が図られることを目指しています。



農山漁村地域

[ふるさと団体]

農山漁村を守る

<課題>

- ・人手が足りず地域保全ができない



二一入把握
連絡・調整

応援

相互理解・交流

連絡・調整

協定書

企業・大学等

[農山漁村(ふるさと)協働パートナー]

農山漁村地域を応援

- ・労力・ノウハウの提供
- ・農山漁村地域との交流促進



「まち」と「むら」をつなぐ

- ・両者をマッチング
- ・協働活動や農山漁村をPR

徳島県



参加方法や活動実施の流れ

農山漁村(ふるさと)協働パートナー

農山漁村の応援をしたいと思う
企業・大学・NPO法人等の団体

参加申込

要件を満たせば
「県」と「パートナー協定」を締結

県、パートナー等で情報交換や方向性の確認

ふるさと団体

応援の受け入れを希望する
農山漁村地域の団体

相談

県・市町村

申し込み

双方の希望をもとに、県が調整

活動内容の詳細打合せ

協働活動の実施

継続的活動へ

Q & A

Q1 どんな活動をするの？

A 協定を締結した大学、企業、NPO法人と農山漁村地域の方との協働活動です。

例えば棚田の保全活動、耕作放棄地の復元作業、農繁期の農作業の支援、農山漁村観光ビジネスでの提携など、地域によってさまざまな活動が予定されています。

Q2 参加するのに費用はかかるの？

A 登録料や会費などの費用は必要ありません。

ただし、活動に参加するための経費(現場までの交通費、作業の際の保険料等)は、基本的には協働パートナーの方の負担となります。また、活動に参加いただける方は、必ずボランティア保険等に加入していただくことになっています。

Q3 参加するメリットは？

A それぞれにメリットは考えられます。一例ですが、参考にしてみてください。

【企業側のメリット】社会貢献活動(CSR活動)による企業のイメージアップ、福利厚生・研修先としての社員のリフレッシュ効果、地域資源や特産品を活用したビジネスチャンスなどが挙げられます。また、活動事例は、本事業のPRとして様々な形で活用させていただきますので、企業PRとしても有効になればと思います。

【大学側のメリット】調査研究の場、学生の人材養成の場として活用できます。コミュニケーション力の向上や地域の魅力を掘り起こし発信する能力、地域の見方・調べ方も身につきます。また、地域とともに歩む大学という社会的ステータスの向上も望めます。

【NPO法人側のメリット】法人自らの目的・使命をより大きく、充実させて実現するための活動が期待できます。また農山漁村・行政から情報を得て、課題の提起を行う機会にもなります。

【農山漁村地域側のメリット】人手不足の解消や地域資源の保全・有効活用など、都市部の方々との協働・交流による農村環境の保全や地域の活性化が期待されます。

とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業

応援活動の様子



農村舞台の設営を
応援



棚田の保全活動を
応援



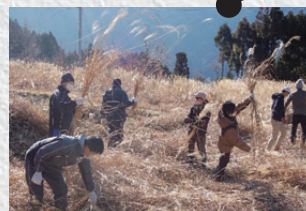
ホテルの保全活動を
応援



キノコの植菌作業を
応援



はっさくの収穫を
応援



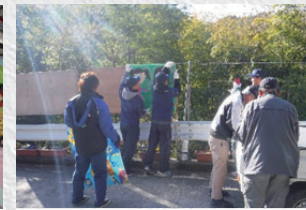
かや刈り作業を
応援



郷土料理体験活動を
応援



地域イベントの準備を
応援



地域イベントの設営作業を
応援



地域伝統のお祭りを
応援



協働パートナーからの
提供飲料を協働活動時に
活用



休耕田の利活用を
応援



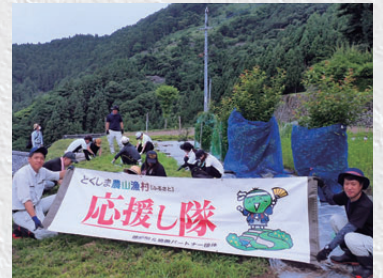
植樹や除草作業を
応援

協働パートナー団体一覧(記載:五十音順) ※令和5年1月末現在

- | | | | | | |
|----------------------------------|--|---------------------------|-----------------------------|--|-----------------------|
| 1 アサヒビール株式会社 徳島支社 | 13 大塚製薬株式会社 徳島本部 | 25 株式会社 昌栄(徳島洋菓子倶楽部イルローザ) | 38 徳島県教職員団体連合会 | 51 徳島文理大学 | 63 株式会社 ハレルヤ |
| 2 学校法人 穴吹学園 | 14 木岐奥次世代会議 | 26 株式会社 ジェイテクト 徳島工場 | 39 徳島県・市町村国際交流協会等連絡協議会 | 52 徳島ペプシコーラ販売株式会社 | 64 B X朝日建材株式会社 |
| 3 独立行政法人国立高等専門学校機構
阿南工業高等専門学校 | 15 キシダ化学株式会社 徳島工場 | 27 全日本空輸株式会社 徳島支店 | 40 一般社団法人 徳島県損害保険代理業協会 | 53 ナカガワ・アド株式会社 | 65 東とくしま農業協同組合 |
| 4 阿南信用金庫 | 16 株式会社 キョーエイ | 28 株式会社 高橋ふとん店 | 41 徳島県土地改良事業団体連合会 | 54 株式会社 中村両栄舎印刷所 | 66 株式会社 福村 |
| 5 株式会社 阿波銀行 | 17 近藤化学工業株式会社 徳島工場 | 29 中国四国農政局 四国東部農地防災事務所 | 42 徳島県農業協同組合中央会 | 55 南海フェリー株式会社 | 67 特定非営利活動法人 マチトソラ |
| 6 株式会社あわわ | 18 サイファー・テック株式会社 | 30 中国四国農政局 徳島県拠点 | 43 徳島合同証券株式会社 | 56 西精工株式会社 | 68 株式会社 松浦機械製作所 |
| 7 社会福祉法人 池田博愛会 | 19 貞光食糧工業株式会社 | 31 中国四国農政局 那賀川農地防災事業所 | 44 特定非営利活動法人とくしま障がい者就労支援協議会 | 57 日本生命保険相互会社 徳島支社 | 69 株式会社 松本コンサルタント |
| 8 池田福助株式会社 | 20 サントリービバレッジソリューション株式会社
中国・四国支社 徳島支店 | 32 中国四国農政局 吉野川北岸二期事業水利事業所 | 45 生活協同組合とくしま生協 | 58 日本大学 生物資源科学部
食品ビジネス学科 農村資源開発論研究室 | 70 株式会社 丸本 |
| 9 株式会社 いさわ(テニスアリーナガーデン) | 21 四国建設コンサルタント株式会社 | 33 東亜合成株式会社 徳島工場 | 46 国立大学法人 徳島大学 | 59 日本フネン株式会社 | 71 有限会社 三木産業 |
| 10 市岡製菓株式会社 | 22 四国コカ・コーラボトリング株式会社 徳島支店 | 34 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 | 47 徳島大学生協同組合 | 60 日本酪農協同株式会社 徳島工場(毎日牛乳) | 72 株式会社 メディコム |
| 11 株式会社伊藤園 徳島支店 | 23 学校法人 四国大学 | 35 東武トップツアーズ株式会社 徳島支店 | 48 株式会社 徳島大正銀行 | 61 株式会社 日本旅行 徳島支店 | 73 山本光学株式会社 |
| 12 ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 中・四国支店 | 24 芝商事株式会社 | 36 徳島インディゴソックス球団 | 49 徳島中央郵便局 | 62 株式会社 パソナ パソナ・徳島支店 | 74 特定非営利活動法人 吉野川に生きる会 |
| | | 37 徳島県学校生活協同組合 | 50 徳島農大そらそうじや | | 75 株式会社 リブドゥコーポレーション |

こちらの団体の皆さんが活動を応援しています!

株式会社 松本コンサルタント



草刈りや農村舞台の設営、『日和佐八幡神社』の[ちょうさ]の担ぎ手など、団体・住民に溶け込んで活動している。

地域への感謝の気持ちをカタチにする

『ふるさと応援し隊』発足初期から協働パートナーとして協定を結んだ同社。50年以上にわたり、国土調査の地籍測量を専門とする企業として業界をリードしている。

現在は空間情報コンサルタントとして、調査・測量、設計、GIS、自社システム開発等、業務の幅を拡大。災害復興の観点からも事業に携わり、業務を通じて地域に貢献している。

「何度が通っていると、ふるさと団体の方が顔を覚えてくださって。年に数回の活動ではありますが、一助になっていけば幸いです」と、松本係長。「この活動をきっかけに、初めて足を運んだ地域もあります。徳島県出身とはいえ、仕事をしているだけでは出会えなかった

場所や人とのご縁が嬉しいです」と、森口主任。同社では「明るく澆刺とした職場づくり」を目指し、若手社員を中心に委員会を結成しており、委員会活動の一環として協働活動へ参加している。一人も所属する当委員会から全社に参加を呼びかけると、自然と社員が集まってくる。県外支店からの参加も珍しくない。

なぜ同社がこれほどまで積極的なのか。それは、約30年前から会社周辺の清掃活動を行っていることから窺える。「ボランティアをしよう」と改まって参加するのではなく、意識せず体が動いているという印象だ。「地域への恩返し」という想いを胸に、今後ふるさと団体との交流が続くであろう。

地域の声～協働パートナーインタビュー～

四国大学



「四国大学のみんなが来てくれると助かる」そんな言葉をかけてもらって、学生たちもうれしい気持ちになるようだ。

続けることで繋がる和気張らずに、楽しんで活動してほしい

「高開の石積み景色は素晴らしいものだし、一度行ってみたいよ」と話すのは、四国大学の萩原教授。四国大学は『ふるさと応援し隊』の立ち上げ時から10年以上、活動に携わり続けている。今まで多くの現役大学生・OBが自然に集まり活動に参加しているのは、萩原教授がいい意味で「ゆるく」学生たちを率いてきたからかもしれない。

実際に、10回以上この活動に参加している中国からの留学生・曹さんも、活動の中で印象的な出来事は、木頭で振舞われた「ゆず料理」だと話す。「ゆず尽くしの料理はどれもおいしかったです。本当に香りが良く感動しました」。その出会いから大学での研究テーマも

「ゆず」に。日本や徳島の文化に触れる貴重な機会であることから、留学生の参加も多いそうだ。また、活動では同じく協働パートナーとして参加している県内企業の人たちとも一緒に汗を流す。学生たちが普段関わることのない、企業の人たちと交流を深め、社会と関わることで、卒業後の進路や見聞が広がっているという。

「きれいな景色が見たい」「おいしい地元料理が食べたい」「観光したい」そんな気持ちで参加した活動が紡ぐ和気な学生たちにとってかけがえのない大きな経験となり、結果農山漁村との交流につながっている。どんな理由でもよい、一度参加してみるといいかもしれない。

美郷宝さがし探検隊



地域に残る宝を守り、繋ぐ日本の原風景を残す活動

吉野川市・美郷。一年を通じて農産物や観光産業に恵まれ、人口約9000人の町に年間6万人の観光客が訪れる県内屈指の故郷だ。しかし、これは2019年の数字。その後、新型コロナウイルス感染症が広がり約3年、観光客もそうだが人口減少も続いている。

この地域の景観を守り、文化資源の保存活動を行う『美郷宝さがし探検隊』。地域住民を核とし、美郷に興味を持つ人たちで結成された。活動拠点は『美郷ほたる館』、『ふるさと応援し隊』の活動を行う際の集合場所としても活用されている。

協働パートナーとの活動の前には、作業内容に加え地域の魅力・課題をしっかりと伝え、参加者に共有。美郷への



毎年のように参加する協働パートナーも多く、交流は深い。ホタルの保護ネットを張る作業なども一緒に行っている。

愛と参加者にファンになってもらいたいという情熱を感じる。

協働パートナーとの活動は大きく2つ、「石積み周辺の草刈り」と「ゆずの収穫」だ。高開の石積みを覆うように咲き誇る芝桜が美しいのだが、新芽をシカが食べてしまい全盛期に比べると激減。少しずつ、前の状態に戻せるよう活動を続けている。ゆずの収穫は、高齢になった木の持ち主の代わりに収穫を行い、協働パートナーにはお土産としてゆずを渡している。

昔は、農家同士が「手間替え」と言われて家々で労働力を交換し合って作業を進めていた。『美郷宝さがし探検隊』の活動は、日本の古き良き習慣を現代に繋ぐものだとと言える。

地域の声～ふるさと団体インタビュー～

木岐奥次世代会議



何世代にもわたってみんなが集える場所を

キラキラと水面に反射する光がまぶしい田井ノ浜海水浴場。その先に広がるのが木岐地区だ。そこで活動をする『木岐奥次世代会議』。その名の通り、次世代に木岐をつないでいく活動を続けている。

団体が主催する中でも一大イベントは「かかしコンテスト」。今年で18回目を迎え、多種多様なかかしが並ぶその不思議な光景に、毎年地区内外から多くの人が訪れている。

このイベントの開催にあたり、設営や準備を協働パートナーへ依頼。観客席やかかしの設置、テント張りなど1日ばかりで作業を行っている。団体の後継者不足の心配もあるが、地域おこし協力隊や、協働パートナーのサポー



河川の清掃活動などを定期的にも実施。団体メンバーたちは意見交換しながら、木岐の環境を守り、魅力を伝える活動を続けている。

トの中で毎年イベントが支えられているそう。

また、イベントを企画運営する一番の目的は、「みんなが集まる場」を作ること。実際に開催の時期が近づくと地域のおばあちゃんたちも「かかし作らなや！」と張り切り、近隣の学校から多くの子どもたちが集まり活気づく。さらに、町外からかかしを出品してもらうこともあり、うちだけでなくソトとの繋がりが深まっている。

そして今年も写真・絵画・手芸など地元の人たちが創意工夫を凝らした作品を展示する「文化祭」を開催し盛況。今後は、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、交流事業など各種イベントを行っていきたくと話している。

協働パートナー

ふるさと団体

大募集

徳島県では『協働パートナー』として活動していただける団体(大学・企業・NPO法人など)を募集しています。地域貢献・社会貢献に理解・関心がある団体のご登録をぜひお待ちしております。

また“応援”を希望する『ふるさと団体』も募集しています。お問い合わせは、農山漁村振興課または最寄りの県担当窓口までお気軽にご連絡ください。



ふるさと応援すだちくん

協働パートナー

に関するお問い合わせ

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1

徳島県農林水産部農山漁村振興課 振興・創生担当

電話 088-621-2486 FAX 088-621-2859

E-mail tanada@mail.pref.tokushima.jp

<事業について>



「とくしまの農山漁村 応援し隊事業」

検索

<https://www.tokushima-nousangyoson.net/shien/kyodo/>



ふるさと団体

に関するお問い合わせ

東部農林水産局<徳島庁舎> 〒770-0855 徳島市新蔵町1丁目67	農村整備第一担当 電話 088-626-8538 FAX 088-626-8734	管轄地区 鳴門市 勝浦町 上勝町 佐那河内村 神山町
東部農林水産局<吉野川庁舎> 〒779-3304 吉野川市川島町宮島736-1	農村整備担当 電話 0883-26-3782 FAX 0883-26-3993	管轄地区 吉野川市 阿波市
南部総合県民局<阿南庁舎> 〒774-0030 阿南市富岡町あ王谷46	農村整備第一担当 電話 0884-24-4053 FAX 0884-24-4306	管轄地区 阿南市 那賀町
南部総合県民局<美波庁舎> 〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天17-1	農村保全担当 電話 0884-74-7398 FAX 0884-74-7378	管轄地区 牟岐町 美波町 海陽町
西部総合県民局<美馬庁舎> 〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73	農村保全担当 電話 0883-53-2281 FAX 0883-53-2084	管轄地区 美馬市 つるぎ町
西部総合県民局<三好庁舎> 〒778-0002 三好市池田町マチ2415	農村保全担当 電話 0883-76-0662 FAX 0883-76-0455	管轄地区 三好市 東みよし町